

獨協医科大学日光医療センター 処遇改善等について

■ 医師の負担軽減及び処遇改善に資する取り組み

項目	取り組み内容
勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施	シフト作成者(医局長)による勤務予定の管理
勤務時間インターバル	常勤・非常勤医師の採用による業務負担軽減
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	当直でない医師による当直医師のサポート体制(23 : 00 まで)の実施
当直翌日の業務内容に対する配慮	常勤・非常勤医師の採用による業務負担軽減
交替勤務制・複数主治医制の実施	常勤・非常勤医師の採用による業務負担軽減
育児・介護休業法による措置を活用とした 短時間正規雇用医師の活用	女性医師優遇制度の導入による育児と業務の両立支援の実施

■ 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する取り組み

項目	取り組み内容
業務量の調整	各部署の看護師長による時間外労働が発生しないようなシフト管理の徹底 勤務時間帯毎に白衣の色を変え、職員同士で声掛けができる体制の構築
看護職員と他職種との業務分別	病棟薬剤師による入院患者の持参薬の管理、服薬指導の実施 薬剤師による がん患者への服薬指導実施 リハビリ担当職員による入院患者のリハビリ室までの送迎の実施 外来診療における採血室での臨床検査技師による採血(血液検査)実施 ME(臨床工学技士)による医療機器の管理 事務員による初診患者に対する問診の実施
看護補助者の配置	看護補助者の夜間配置
短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用看護師の活用
多様な勤務体系の導入	2 交代の導入 4 週 8 休の導入(平成 20 年より)
妊娠・子育て中・介護中の介護職員に対する配慮	半日・時間単位休暇制度の実施 所定労働時間の短縮 他部署への配置転換 夜勤回数の軽減
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員
ICT、AI、IoT の活用による業務負担軽減	アミボイスの導入・活用 スマートベッドの導入・活用 AI 問診の導入・活用

■ 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	内容
初診時の予診の実施	総合窓口(事務)、各診療科窓口(事務・看護師)で実施。 また、救急外来で看護師によるトリアージを実施。
静脈採血等の実施	外来患者については採血室で臨床検査技師、入院患者については病棟看護師が実施。
入院の説明の実施	入院窓口(事務)、各病棟(看護補助)、地域連携・入退院支援センター(看護師)にて実施。
検査手順の説明の実施	看護師により実施。
服薬指導の実施	病棟薬剤師より入院患者へ服薬指導を実施。 また、薬剤師より外来化学療法実施患者へ服薬指導を実施。